



沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラス  
ター推進協議会

# スポーツ産業の未来

vol.1

## 沖縄SV ~プロスポーツチームによる地域創生~



産学官金が連携しスポーツの产业化を目指すべく、平成29年に組成された沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラス

ター推進協議会（通称：「スポクラ」）。スポーツ関連のみならず、多くの組織・企業にご参加いただいています。

今号より「スポーツ産業の未来」と題して、沖縄のスポーツ・ヘルスケア

産業が抱える課題とそれに取り組む組織を6回のシリーズで紹介します。

第1回目は、「沖縄コーヒープロジェクト」を手掛けるプロサッカーチームの沖縄SV（エスファウ）の地域創生の取組についてご紹介します。

### なぜ、サッカーチームが農業？

沖縄SVは元サッカー日本代表の原直泰氏が2015年に設立したプロサッカーチームで、現在、九州リーグに属しています。その沖縄SVが取り組んでいるのが「沖縄コーヒープロジェクト」です。なぜ、サッカーチームが農業に携わるのか。その答えは高原氏の体験にあります。

高原氏はJリーグで活躍した後に、海外へと活躍の場を移しましたが、その中でも大きな影響を受けたのがドイツ時代。ドイツではサッカーチームはチームの勝利を目指すだけでなく、地域に根差し地域と共にスポーツのチカラで社会問題を解決していました。そ

のドイツのクラブを理想として立ち上げたのが沖縄SVです。

### 沖縄の社会課題と向き合う



クラブを設立して間もなく、沖縄における様々な社会問題を目の当たりにした高原氏が、中でも強い関心を示したのが「農業」における課題でした。沖縄の農業は農家の高齢化、後継者不足という大きな課題を抱えています。これららの課題解決には、「若者がチャレンジしたくなるような作物」すなわち、

①今後、消費の拡大が予想され、②他農地と差別化でき、③六次化（観光につながる農産物、の必要性を実感したどり着いたのが「コーヒー栽培だっ

ジエクトです。

## 希少な国産コーヒー産地としての道のり



### 世界最大の食品会社や大学を巻き込んだプロジェクト

高原氏の思いに賛同し強力なサポートになったのが、世界最大の食品飲料会社ネスレの日本法人「ネスレ日本」でした。中国やイングなど人口の多い国々の経済発展に伴い、嗜好品であるコーヒーは需要過多になりつつあります。コーヒーが主力ビジネスのひとつであるネスレにとっては、安定した供給量が確保できないのは死活問題です。そこで始めたのが「ネスカファーマン」でした。世界中の農家に苗木を提供し、ネスレ所属の農学博士が農家の取り組みのように、社会的価値を生み出しつつ本業の価値創造を行うことで、持続性を担保するという手法はCSV(Creating Shared Value)と呼ばれ、世界的に注目されています。この「ネスカファーマン」に日本で初めて取り組んだのが沖縄コーヒーapro

ヒーベルトの北限ギリギリに位置しており、理論上、栽培は可能と言われています。しかし、沖縄におけるコーヒー栽培の最大のハーダルは台風です。このハーダルを乗り越えるために協力しているのが琉球大学農学部です。台風に負けない強い品種の選定や土壤研究、生産技術の指導などをネスレ日本と共同で実施しています。2019年春に植えた苗木は現在、大きいもので170cmを超えるコーヒーの実をつけ始めています。

これまで、栽培研究を中心に行ってきたプロジェクトですが、今後の展開として高原氏が掲げるは「地域とのより密接な連携」です。2021年1月からは、名護市の北部農林高校との連携を開始。苗木や種子を無償で提供し、高校の農場でコーヒー栽培を始めます。高校生が学校のカリキュラムの一環として、沖縄S.V.やネスレ日本、琉球大学農学部と連携して栽培研究を行っていきます。将来性のあるコーヒーという農産物の栽培を学生時代に体験することで、若手の農業従事者を増やし未来のコーヒー農家を育成するとともに、高原氏をはじめとするサッカーチームのメンバーなど普段は交わることのない人々との交流を通じて、高校生のキャリア形成にもつなげます。また、コーヒーは観光農園のような「六次化」の高いポテンシャルを持つています。沖縄S.V.は、沖縄をコーヒーの収穫・焙煎・試飲体験ができる観光のメッカとしてプランディングしていくために、農業法人の設立を予定しています。

### 沖縄S.V.が目指す理想のクラブへ



### 地域を巻き込んだ新しいチャンレジ

これまで、栽培研究を中心に行ってきたプロジェクトですが、今後の展開として高原氏が掲げるは「地域とのより密接な連携」です。2021年1月からは、名護市の北部農林高校との連携を開始。苗木や種子を無償で提供し、高校の農場でコーヒー栽培を始めます。高校生が学校のカリキュラムの一環として、沖縄S.V.やネスレ日本、琉球大学農学部と連携して栽培研究を行っていきます。将来性のあるコーヒーという農産物の栽培を学生時代に体験することで、若手の農業従事者を増やし未来のコーヒー農家を育成するとともに、高原氏をはじめとするサッカーチームのメンバーなど普段は交わることのない人々との交流を通じて、高校生のキャリア形成にもつなげます。また、コーヒーは観光農園のような「六次化」の高いポテンシャルを持つっています。沖縄S.V.は、沖縄をコーヒーの収穫・焙煎・試飲体験ができる観光のメッカとしてプランディングしていくために、農業法人の設立を予定しています。

**【お問合せ先】**  
経済産業部 企画振興課  
**☎098-866-1727**

### 取材・文

沖縄スポーツ・ヘルスケア  
産業クラスター推進協議会  
プロジェクトマネージャー  
青田 美奈  
(株)レジスタ 取締役COO

